

# 「第6回 足元には文化財」展 発掘された庄内の城跡

主催 鶴岡市教育委員会

共催 (財)山形県埋蔵文化財センター



つるがおかしょうあと  
鶴ヶ岡城跡



ふじしまししょうあと  
藤島城跡



かめがさきしょうあと  
亀ヶ崎城跡

庄内地方の遺跡を紹介する「足元には文化財」展も今年で6回目となりました。今回は城跡の出土品を数多く展示します。この展示を通して、ふるさとの遺跡が身近にあることを知ってもらえたらと思います。

開期：平成23年7月13日（水）

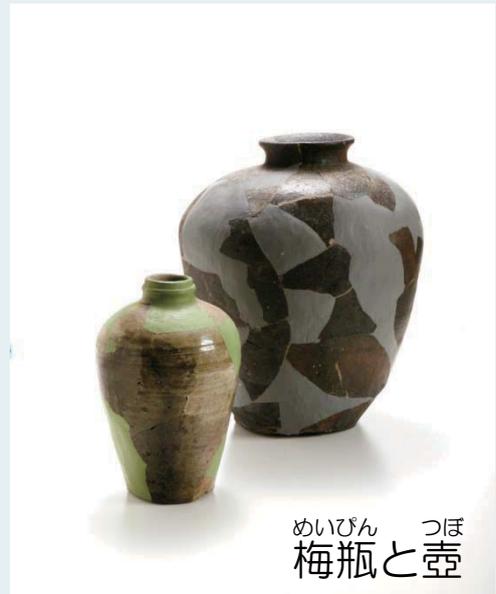
～9月4日（日）

時間：午前9時30分～午後5時

会場：鶴岡市立図書館2階展示コーナー

## ふじしまじょうあと 藤島城跡（鶴岡市）

県立庄内農業高等学校の校舎敷地内にある藤島城跡は、1193年ころは土佐林氏が城の主であったと記録されています。1615年に廃城となるまで、一揆（農民の反乱）の重要な地点となったり、土佐林氏から武藤氏、最上氏、上杉氏と城の主が次々代わったり、激しい歴史の移り変わりがありました。



## つるが おかじょうあと 鶴ヶ岡城跡（鶴岡市）



鶴ヶ岡城は、もともと「大宝寺城」と呼ばれていました。やがて1601年に最上義光が支配することになると縁起の良い鶴亀にちなんで「鶴ヶ岡城」と名が変えられました。その後は、酒井氏が城の主となり城下町も整備され、明治時代に廃城となるまで庄内藩の中心として栄えました。現在、城の跡地は東北公益文科大学院、研究センターとなっています。

## かめがさきじょうあと 亀ヶ崎城跡（酒田市）

古くからは「酒田城」といい、東禅寺という寺があったので「東禅寺城」とも呼ばれていました。1603年に酒田湊に体長2メートルほどの大きな亀があがったことから、最上義光によって「亀ヶ崎城」と名前が変えられました。明治時代になって廃城となり、現在、城の跡地は県立酒田東高等学校となっています。

